

「本でつながろう！本で心をそだてよう！みんないっしょに」読みつなぎ活動

取組事業名

移動こども図書館事業

岩手県大船渡市・陸前高田市

学校名

大船渡市内全小学校 12 校

※該当する内容に○

活動内容	学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
		○				○
	放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	学童クラブとの連携	その他
	学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
					○	
家庭教育支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他	
		○	○			
地域課題に応じた額習	高齢者支援	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他	
		○	○			

取組概要

移動こども図書館事業

専用車両を用い、市内の教育機関や小規模な施設等を定期的きめ細かく巡回し、図書資料の供覧と貸し出しを行った。巡回時には読み聞かせ活動や図書レファレンス、また保護者からの相談に対応した。応急仮設住宅団地等では、図書貸し出しの他に本や雑誌を無償提供しながら、お茶会や傾聴活動も展開した。

巡回先は以下のとおり。

① 大船渡市内小学校（毎月 1 回）

全 12 校（盛小学校・大船渡小学校・大船渡北小学校・末崎小学校・赤崎小学校・蛸ノ浦小学校・猪川小学校・立根小学校・日頃市小学校・綾里小学校・越喜来小学校・吉浜小学校）を訪問した。各学校に毎月 1 回、全クラスに 30 冊ずつの絵本や児童書を学級文庫として貸し出した。良書や調べ学習対応図書など児童生徒の興味を引きだすもの等を当団体で選書した。児童生徒自身による図書管理を促すため、貸し出す本のリストを添付した。そのリストには自由筆記欄を設け、児童生徒からの要望やリクエスト本の把握に活用した。学年や季節に応じた「おすすめ本情報」を載せた「ころりん新聞」を発行し、読書意欲を高めた。

② 大船渡市と陸前高田市の子育て支援団体活動場所（毎月 1～2 回）

大船渡市内 7 団体（のびのび子育てサポーターズマイル・子育てシップ・きっぴんきっず・慈愛福祉学園デイサービス・地域子育て支援センターおひさま広場・立根地区公民館・日頃市放課後学童クラブ）、陸前高田市内 1 団体（子育てシップ）に出向き、絵本の読み聞かせおはなし会を開催し、子どもと保護者に絵本の貸し出しを行った。図書や子育ての相談等により、交流を深めた。

③ 応急仮設住宅団地等

全 37 ヶ所中 20 ヶ所の応急仮設住宅団地、および地域住民の集まる場所 4 カ所を毎月 1 回訪問し、読み聞かせや図書レファレンスをしながら、子どもに絵本や児童書を貸し出す。大人には、一般雑誌等の無償提供、および書籍や実用雑誌の古本市をする。参加者にお茶やお菓子を提供し、簡易のお茶会を開き、交流活動による地域コミュニティの活性化を図るとともに、傾聴活動により心のサポート支援にも取り組む。

【定期巡回】（毎月 1 回）大船渡町内全仮設団地・赤崎町内全仮設団地・末崎町内全仮設団地

杉下仮設団地・仲崎浜仮設団地・三鉄さんりく駅・大船渡小学校裏・居場所ハウス

マイヤ大船渡店 以上 24 ヶ所

【不定期訪問】盛町夏祭り・越喜来サイコー商店街イベント・さんりく駅前イベント

三陸公民館イベント・赤崎復興市イベント、陸前高田市の仮設団地等（年 3 回、計 9 か所）

④ おはなしころりん地域交流スペース「おはなしサロン」内

運営日時は、月・火・木・土・日の 10:00 から 16:00 まで。読み聞かせおはなし会を開催

本の貸し出し。図書関連のイベントで読書活動の啓発。地域交流と世代間交流。



# 平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

## 事業成果

### 移動こども図書館事業

◎利用実績（平成 27 年 4 月～平成 28 年 2 月）

区分	利用者延べ人数		利用冊数	
	大人	子ども	貸し出し図書冊数	無償提供本冊数
小学校	—	小学生 14578 人	24590 冊	—
子育て支援団体	保護者 363 人	未就学児童 810 人	1269 冊	—
地域・仮設住宅等	地域住民 711 人	390 人	1099 冊	2491 冊
おはなしサロン	地域住民・保護者 1000 人	472 人	424 冊	864 冊
合計	2074 人	16250 人	27382 冊	3355 冊

◎アンケートによる事業の評価は良好で、次年度も継続希望がよせられている。アンケートからの抜粋は以下のとおり。

#### 【小学校】

積極的に本を読む子どもが増えた。子どもが楽しみにしている。子どもが関心を持ちそうな本が多くある。教室に良い本が並んでいるという環境がいい。選書に子どものリクエストに応じてもらえる。定期的に本を変えてもらえるので飽きない。季節に合った本が手に入る。おすすめ本が紹介された「ころりん新聞」を通じてたくさん本に触れるきっかけとなった。様々な種類の本があるので読書の幅が広がった。学年の教科に合った本がかりられる。身近に本がある読書環境がいい。本を通して会話が弾む。発達段階に応じた本を選書してもらえる。

#### 【その他】

子どもだけでなく大人（保護者）も本が借りられるので楽しみにしている。年度途中でリクエストに応じてもらって嬉しかった。懐かしい本や新しい本など種類の多さが魅力的。貸し出し時にしてもらう読み聞かせが楽しみ。ひとりひとりへの対応が丁寧。多くの本に触れあうことができた。本に親しむ機会に恵まれた。親子の幸せな時間や空間になった。読み聞かせの他に歌や手遊びも楽しい。団体間の連携をこのまま定着させたい。保護者からの読書の相談をしてもらえる。

◎アンケートから得られた改善点は以下のとおり。

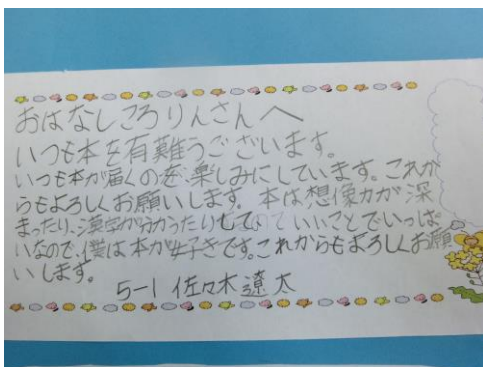
#### 【小学校】

月 1 回ではなく 2 回に増やしてほしい。（事業の拡大の要望）

クイズやパズルの本は加えないでほしい。（選書の改善点）

#### 【その他】

なし



## 課題と今後の取組

◎大船渡市では、27年度末までに災害公営住宅団地の8割が完成し入居可能になり、28年度中に応急仮住宅団地の6割が撤去の予定である。自力再建する住居も増えつつある。以上のことから、28年度は住民の移動のピークとなる年と捉え、災害公営住宅団地の巡回訪問を開始する。災害公営住宅団地では、仮設住宅とは違ったアプローチをとる必要があると考えるが、その方法を模索中。支援対象の主体性を育む活動へ。

◎図書を借りやすくして返しやすいという読書環境の整備を目的に、図書を通じたコミュニティ再生も目指すところで、住環境や被災者の心の回復の様子をみながら、柔軟に活動の場所や内容を変えていくことが充実した支援へとつながると思われる。

◎継続的な学習支援活動とするために人材の育成を続ける。

◎地域住民からの理解と信頼を得るために丁寧な対応を心掛ける。